

記

1. 施行者の名称 富士見市
2. 都市計画事業の種類及び名称 富士見都市計画下水道事業富士見公共下水道
3. 事業計画

イ 事業地

汚 水

- (1) 収用の部分 変 更 な し
- (2) 使用の部分 変 更 な し

雨 水

- (1) 収用の部分 変 更 な し
- (2) 使用の部分 変 更 な し

ロ 設計の概要 別添設計の概要を表示する図面のとおり

ハ 事業施行期間 昭和 49年10月 25日 から
令和 2年 3月 31日
令和 5年 3月 31日 まで

予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書					
処理区域の面積		1223ヘクタール		処理区域内の地名	
富士見市 区域は事業地を表示する図面のとおり					
処理区分の名称	面積 (h a)	流域下水道との 接続箇所の番号	流域下水道との 接続箇所の位置	接続する流域 下水道の幹線名	摘要
新河岸第12-2-1 処理区分	225	新河岸川第12	大字勝瀬字反町	荒川右岸流域下水道 新河岸川幹線	日平均 7,540m ³ /日 日平均 7,420m ³ /日 BOD 187ppm SS 145ppm
新河岸第12-2-2 処理区分	9	新河岸川第12-1	大字勝瀬字反町	荒川右岸流域下水道 新河岸川幹線	日平均 20m ³ /日 BOD 187ppm SS 145ppm
新河岸第13 処理区分	12	新河岸川第13	大字鶴馬字畑下	荒川右岸流域下水道 新河岸川幹線	日平均 40m ³ /日 BOD 187ppm SS 145ppm
新河岸第14 処理区分	216	新河岸川第14	大字下南字路通	荒川右岸流域下水道 新河岸川幹線	日平均 1,010m ³ /日 日平均 1,000m ³ /日 BOD 187ppm BOD 186ppm SS 145ppm SS 143ppm
新河岸第16-1-1 処理区分	34	新河岸川第16-1	志木市上宗岡三丁目	荒川右岸流域下水道 新河岸川幹線	日平均 90m ³ /日 日平均 100m ³ /日 BOD 187ppm SS 145ppm
砂川堀第3-2 処理区分	78	砂川堀第3	大字勝瀬字市街道	荒川右岸流域下水道 砂川堀幹線	日平均 4,090m ³ /日 日平均 4,030m ³ /日 BOD 187ppm SS 145ppm
砂川堀第4-2 処理区分	58	砂川堀第4	大字勝瀬字柳合	荒川右岸流域下水道 砂川堀幹線	日平均 520m ³ /日 日平均 500m ³ /日 BOD 187ppm SS 145ppm

予定処理区域及び流域下水道との接続箇所調書					
処理分区の名称	面積 (h a)	流域下水道との 接続箇所の番号	流域下水道との 接続箇所の位置	接続する流域 下水道の幹線名	摘 要
江川第2処理分区	55	江川第2	大字鶴馬字名志久保	荒川右岸流域下水道 江川幹線	日平均 2,320m ³ /日 日平均 2,280m ³ /日 BOD 187ppm SS 145ppm
江川第3処理分区	51	江川第3	鶴馬一丁目	荒川右岸流域下水道 江川幹線	日平均 2,800m ³ /日 日平均 2,760m ³ /日 BOD 187ppm SS 145ppm
江川第4処理分区	309	江川第4	大字鶴馬字出口	荒川右岸流域下水道 江川幹線	日平均 11,770m ³ /日 日平均 11,590m ³ /日 BOD 187ppm SS 145ppm
柳瀬第8処理分区	49	柳瀬川第8	大字針ヶ谷字中通	荒川右岸流域下水道 柳瀬川幹線	日平均 1,910m ³ /日 日平均 1,870m ³ /日 BOD 187ppm BOD 188ppm SS 145ppm
柳瀬第9処理分区	84	柳瀬川第9	大字水子字岡の坂	荒川右岸流域下水道 柳瀬川幹線	日平均 1,780m ³ /日 日平均 1,760m ³ /日 BOD 187ppm SS 145ppm
柳瀬第10-1処理分区	43	柳瀬川第10	大字水子字北袋	荒川右岸流域下水道 柳瀬川幹線	日平均 2,830m ³ /日 日平均 2,800m ³ /日 BOD 171ppm BOD 170ppm SS 203ppm SS 204ppm

(雨 水)

予 定 排 水 区 域 及 び 放 流 箇 所 調 書				
排 水 区 域 の 面 積		5 7 5 ヘクタール	排水区域内の地名	富 士 見 市 区域は事業地を表示する図面のとおり
排 水 区 の 名 称	面 積 (h a)	放 流 箇 所 の 位 置	放 流 先 の 名 称	摘 要
江川左岸第一排水区	4	関 沢 二 丁 目	富 士 見 江 川	
江川左岸第二排水区	1 3	関 沢 二 丁 目	富 士 見 江 川	
江川左岸第三排水区	1	関 沢 二 丁 目	富 士 見 江 川	
江川左岸第四排水区	4	関 沢 一 丁 目	富 士 見 江 川	
江川左岸第五排水区	1 1	鶴 馬 二 丁 目	富 士 見 江 川	
江川左岸第六排水区	3	鶴 馬 二 丁 目	富 士 見 江 川	
江川左岸第七排水区	1 3 4	大 字 鶴 馬 字 前 谷	富 士 見 江 川	
江川右岸第一排水区	6	関 沢 三 丁 目	富 士 見 江 川	
江川右岸第二排水区	4	関 沢 三 丁 目	富 士 見 江 川	
江川右岸第三排水区	6	関 沢 三 丁 目	富 士 見 江 川	
江川右岸第四排水区	4 2	関 沢 三 丁 目	富 士 見 江 川	
江川右岸第五排水区	7	鶴 馬 二 丁 目	富 士 見 江 川	
江川右岸第六排水区	3	鶴 馬 三 丁 目	富 士 見 江 川	
江川右岸第七排水区	4	鶴 馬 三 丁 目	富 士 見 江 川	
江川右岸第八排水区	2	鶴 馬 三 丁 目	富 士 見 江 川	
江川右岸第九排水区	3	大 字 鶴 馬 字 前 谷	富 士 見 江 川	

(雨 水)

予 定 排 水 区 域 及 び 放 流 箇 所 調 書				
排 水 区 の 名 称	面 積 (h a)	放 流 箇 所 の 位 置	放 流 先 の 名 称	摘 要
江川右岸第十排水区	2	大字水子字山崎	富士見江川	
江川右岸第十一排水区	8 1	大字水子字山崎前	富士見江川	
柳瀬川第一排水区	4 5	大字水子字別所前	柳 瀬 川	
新河岸川第一排水区	2 3	大字鶴馬字内谷	新 河 岸 川	
新河岸川第二排水区	3 4	大字下南畑字下ノ谷	新 河 岸 川	
新河岸川第五排水区	7 1	水 谷 東 三 丁 目	新 河 岸 川	
砂川堀左岸第三排水区	7 3	大 字 勝 瀬 字 道 京	砂川堀第2雨水幹線	

(汚 水)

管 渠 調 書			
処 理 分 区 の 名 称	幹線管渠の内のり寸法 (単位 mm)	延 長 (単位 m)	摘 要
江川第4処理分区	⊙800	440	
	小 計	440	
総 計		440	

ポンプ施設調書

ポンプ施設の名称	処理分区の名称	ポンプ施設の位置	敷地面積 (単位 アール)	1分間の揚水量 雨天時最大	摘要
別所雨水ポンプ場	新河岸川第五排水区	水谷東三丁目	28.66	198.0m ³ /min	雨水

ポンプ施設の敷地内の主要な施設					
ポンプ施設の名称	主要な施設の名称	数	構造	能力	摘要
別所雨水ポンプ場	流入ゲート	1台	鋼板製 電動角形ゲート	W1400×H2100×2.2kw	
	粗目スクリーン	2台	SUS製目巾150mm		
	細目自動除塵機	2台	前面掻揚背面降下式 目巾50mm ×取付角75°	W3000×H3760×2.2kw	
	雨水ポンプ	2台	水中渦巻斜流ポンプ φ700	51m ³ /min×6m×90kw	
		1台	渦巻式水中ポンプ φ800鋼板製	96m ³ /min×4.2m×110kw	
	遮水ゲート	1台	電動角形ゲート	W3000×H3000×3.7kw	
	自家発電設備	1台	ディーゼルエンジン掛	500KVA×420V	雨水 ポンプ用
	自家発電設備	1台	ディーゼルエンジン掛	75KVA×210V	非常時
	電気設備	1式			
建築設備	1棟	鉄筋コンクリート造			

資金計画

(単位：千円)

年次	イ. 経費の部								
	建設改良費					起債元利 償還費	維持 管理費	その他	合計
	管渠	ポンプ場	処理場	計	うち用地費				
昭和50年～									
平成30年	35,073,578	1,845,055		36,918,633	172,772	39,805,636	13,845,130		90,569,399
小計	35,022,073	1,860,295		36,882,368	171,033	39,804,866	13,808,766		90,496,000
	536,170	392,500		928,670		859,037	480,000		2,267,707
令和元年	906,768	15,070		921,838		871,699	510,241		2,303,778
	—	—		—		—	—		—
令和2年	470,500	14,000		484,500		828,219	510,000		1,822,719
	—	—		—		—	—		—
令和3年	200,000	75,000		275,000		769,834	510,000		1,554,834
	—	—		—		—	—		—
令和4年	750,000	290,500		1,040,500		693,612	510,000		2,244,112
	536,170	392,500		928,670		859,037	480,000		2,267,707
小計	2,327,268	394,570		2,721,838		3,163,364	2,040,241		7,925,443
	35,609,748	2,237,555		37,847,303	172,772	40,664,673	14,325,130		92,837,106
合計	37,349,341	2,254,865		39,604,206	171,033	42,968,230	15,849,007		98,421,443

記載要領

1. 流域関連公共下水道は、「建設改良費」の欄に建設費負担金、「維持管理費」の欄に管理運営費負担金を含む。
2. 「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。

資金計画

(単位：千円)

年次	口 財 源 の 部											合 計
	建設改良費						維持管理及び起債元利償還費					
	国費	起債	他会計繰入金	受益者負担金	都市計画税	その他	計	下水道使用料	他会計繰入金	その他	計	
昭和50年～ 平成30年	5,223,584	22,195,659	7,102,013	1,998,171		399,206	36,918,633	22,636,358	31,014,408		53,650,766	90,569,399
小計	5,228,994	22,501,499	6,742,386	2,010,283		399,206	36,882,368	22,658,475	30,955,157		53,613,632	90,496,000
	315,000	399,000	190,870	23,800			928,670	1,033,700	305,337		1,339,037	2,267,707
令和元年	95,620	671,500	128,440	26,278			921,838	1,009,920	372,020		1,381,940	2,303,778
	—	—	—	—			—	—	—		—	—
令和2年	158,750	272,350	27,100	26,300			484,500	1,032,534	305,685		1,338,219	1,822,719
	—	—	—	—			—	—	—		—	—
令和3年	87,500	93,750	68,750	25,000			275,000	1,042,858	236,976		1,279,834	1,554,834
	—	—	—	—			—	—	—		—	—
令和4年	332,750	346,475	336,275	25,000			1,040,500	1,053,286	150,326		1,203,612	2,244,112
	315,000	399,000	190,870	23,800			928,670	1,033,700	305,337		1,339,037	2,267,707
小計	674,620	1,384,075	560,565	102,578			2,721,838	4,138,598	1,065,007		5,203,605	7,925,443
	5,538,584	22,594,659	7,292,883	2,021,971		399,206	37,847,303	23,670,058	31,319,745		54,989,803	92,837,106
合計	5,903,614	23,885,574	7,302,951	2,112,861		399,206	39,604,206	26,797,073	32,020,164		58,817,237	98,421,443
下水道使用料※関連事項	接続率：99.1%（元年度：初年度）→100.0%（4年度：最終年度）											
	講じる対策：広報誌等広報活動により未接続世帯に対し下水道接続の啓発を行う											
	有収率：88.7%（元年度：初年度）→89.7%（4年度：最終年度）											
講じる対策：下水道接続確認検査により誤接続等を確認することで不明水の浸入を防ぐ												
その他の講じる対策：平成17年に使用料を改定したが、今後も引き続き社会情勢等を勘案しつつ段階的に使用料の見直しを実施し、適切な使用料を維持する。												

記載要領

1. 「建設改良費」の「その他」の欄には、工事費負担金、都道府県補助金等を記載する。なお、流域下水道は建設費負担金を含んで記載する。
2. 「起債元利償還費」の欄には、企業債取扱諸費を含む。
3. 下水道使用料については、最近の有収水量の動向、国立社会保障・人口問題研究所等による人口・世帯数の見通し、企業立地の見通し等を踏まえた上で算定すること。
4. 「下水道使用料※関連事項」の講じる対策の記載にあたっては、「下水道経営改善ガイドライン（平成26年6月、国土交通省・（公社）日本下水道協会）」等も必要に応じ参照すること。
5. 「下水道使用料※関連事項」の「その他の講じる対策」の欄には、例えば、下水道使用料の見直し検討や徴収対策の取組について記載する。

理 由

本市の公共下水道は、既認可区域の汚水1,222.6ha(内特環271.1ha)・雨水575.3haを対象に整備推進中ですが、市街地の汚水整備については現在進行中の区画整理事業地内を除きほぼ完了しており、普及率は98.4%となっております。

今回の変更認可は、区画整理事業などの遅れにより、当初予定していた事業認可工事完成予定年度での完了が難しいため、事業期間の延伸を行なうものであります。

事業計画目標年次については、上位計画である荒川右岸流域下水道の変更新次に合わせ令和元年度（令和2年3月31日）から令和4年度（令和5年3月31日）とします。

都市計画法事業認可（変更）資料

名称：荒川右岸流域関連富士見公共下水道

都市名：富士見市

都市計画法事業認可	項目		排水面積	排水人口	排水量	処理場	ポンプ場	管渠	整備状況・汚水	行政人口（現在）（A）	111,463人	行政面積（A'）	1,970ha	実施状況 (当該年度を含む)
	既認可	変更	ha	人	m ³ /日	ha	箇所	m		行政人口（最終）	99,800人	処理面積（全体）	1,508ha	
都市計画法事業認可	既認可	合流							雨水	処理人口（全体）	99,700人	計画決定面積	1,310.7ha	実施状況 (当該年度を含む)
		分流汚水	1,222.6	99,490	45,670			440		計画決定人口	97,060人	下水道法事業計画面積	1,222.6ha	
		計	1,222.6	99,490	45,670			440		下水道法人口	97,970人	都市計画法認可面積	1,222.6ha	
	変更	分流雨水	575.3		166.0m ³ /s			1		都市計画法人口	97,970人	整備面積（B'）	1,030.0ha	
		合流								整備人口（B）	109,691人	処理面積（C'）	1,030.0ha	
		分流汚水	1,222.6	97,970	44,990			440		処理人口（C）	109,691人	整備率（B'）/（A'）	52.3%	
	増減	計	1,222.6	97,970	44,990			440		水洗化人口（D）	108,701人	普及率（C'）/（A'）	52.3%	
		分流雨水	575.3		166.0m ³ /s			1		整備率（B）/（A）	98.4%	処理水量（全体）（m ³ /日）		
		合流								普及率（C）/（A）	98.4%	処理水量（現在）		
	下水道法	計		-1,520	-680					水洗化率（D）/（A）	97.5%	処理能力水量（現在）		
		分流汚水								排水面積（全体）	1,822.73ha	都市計画法認可面積	575.3ha	
		計								計画決定面積	1,218.0ha	整備面積（B''）	268.6ha	
分流雨水								下水道法認可面積	575.3ha	整備率（B''）/（A'）	13.6%			
画 緒 元 等	区分	名称	承認年月日	認可番号	告示年月日	告示番号	変更内容							略図
	既認可	富士見公共下水道	平成30年3月22日	指令都計第717-1号	平成30年3月27日	埼玉県告示294号	事業期間の延伸を行なう。事業計画目標年次を上位計画である荒川右岸流域下水道の変更年次に合わせ令和元年度（令和2年3月31日）から令和4年度（令和5年3月31日）とする。							
	汚 水	水量	日平均	日最大	時間最大	原単位	日平均	360% _日 /日						
			生活排水	35,270	44,090		63,190	日最大	450					
			工場排水	900	900		1,800	時間最大	645					
		水質	処理場位置	処理能力水量	水質	区分	BOD	SS	変更理由					
			処理方法	放流先		流入	186ppm	150ppm	区画整理事業などの遅れにより、当初予定していた事業認可工事完成予定年度での完了が難しいため。					
			計画目標年次	令和4年度		水質環境基準	放流	—						—
	雨 水	降雨強度式	降雨強度	確率年		流出係数								
		$\frac{3950}{t+23}$	$\frac{4610}{t+23}$	47.5	55.5(mm/hr)	3年	5年	0.50	0.55					
事業費 (百万円)	管渠	ポンプ	処理場	その他	計	事業施工期間								
	2,721.8	—	—	—	2,721.8	昭和49年10月25日 ～令和5年3月31日								

整備状況は、平成31年3月末で記入

※排水量は日最大